



### ウォーターセーフティクイズ ☆PART1☆

①毎年6月の第三日曜日は何の日でしょうか？

.....RART1\_① 答え、「ウォーターセーフティデー」

②水の事故が一番起きやすいのは何をしている時でしょうか？

.....RART1\_② 答え、「水遊び」

【保護者の方へ】水の事故は未然に防止することが最も大切です。事故の多くは、ちょっとした不注意や水遊びのルールを守らないこと、無謀な行為、知識技能の不足によって発生しています。子どもだけで水辺へ遊びに行かないよう、約束しておくことが大切です。水遊びの時には保護者が一緒にいて、危険な箇所を教えること、保護者が正しい模範を示すことが事故の未然防止につながる安全教育なのです。



### ウォーターセーフティクイズ ☆PART2☆

①海上で事故が起きた時は、何番に電話すればいいでしょうか？

.....RART2\_① 答え、「118番」

②水辺に近づいてはいけない時はどんな時でしょうか？

.....RART2\_② 答え、「自然災害(台風、地震、雷など)の可能性がある時」

③プールのイラストで、危ないことをしている子どもたちは何人いるでしょうか？

.....RART2\_③ 答え、「8人」

【保護者の方へ】子どもたちは、危険な行為や危険な場所であるかどうかの判断ができません。遊びに熱中すると周囲の状況が目に入らなくなってしまいます。お子さまと、この絵の子どもたちがどうして危ないのか話し合ってみてください。そしてその理由を保護者の皆さんからしっかり伝えることが水の事故防止につながります。また、子どもたちは遊びたい一心で具合が悪いのに我慢してしまうことがあります。楽しい水遊びが原因で病気になってしまわないよう、健康チェックを済ませてから水遊びをする習慣をつけましょう。



### ウォーターセーフティクイズ ☆PART3☆

①川のイラストで、危ないことをしている子どもたちは何人いるでしょうか？

.....RART3\_① 答え、「7人」

②ライフジャケットの正しい着方のポイントは何個あるでしょうか？

.....RART3\_② 答え、「3個」

③なぜ、水遊びをする前に「健康チェック」が必要なのでしょう？

...RART3\_③ 答え、「体調が優れない時は、体がうまく動かず、いのちの危険につながるため」



### ウォーターセーフティクイズ ☆PART4☆

①おぼれている人を見つけた時は、何番に電話すればいいでしょうか？

.....RART4\_① 答え、「119番」

②救急隊が到着するまでにできることは何でしょうか？

.....RART4\_② 答え、「浮く物を投げる」

③なぜ、子どもたちだけで助けてはいけないのでしょうか？

...RART4\_③ 答え、「水の中に入ることによって2次災害につながり、いのちを落とす危険性が高まるため」

【保護者の方へ】救助の基本は、救助者自らの生命を守ることです。第一に「決して子どもだけで助けようとせず、近くの大人の人に大声で知らせ、助けを求める」、第二に「付近に大人の人がいなかった場合、こんな方法が安全な助け方だよ」という順序で教えてください。繰り返し教えることが大切です。

また、海での事故の場合は、118番(海上保安庁)へ通報ください。



### ウォーターセーフティクイズ ☆PART5☆

①なぜ、「浮いて待つ」ことが大切なのでしょう？

...RART5\_① 答え、「あわてて泳いでしまうことで、泳げる人でもおぼれたり、心臓が止まったりすることがあるため」

②洋服を着ている時と着ていない時は、どちらが水に浮きやすいでしょうか？

.....RART4\_② 答え、「着ている時(脱がないようにしましょう)」